

令和4年度 学校関係者評価

認定こども園 大阪千代田短期大学附属幼稚園

本園の学校関係者評価の委員会を開催し、幼稚園運営の改善を図るために検討した評価結果について報告します。今年度は2回会議を開催しました、各委員から出していただいた評価の結果を報告いたします。

1. 全体的評価

本園の教育方針、教育目標、保育内容等については、園児の育ちの姿が明確にされており、概ね良好である。子どもにとって大切な体験・経験できるように、保育の中に取り入れている事も、評価できる。しかし、コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き消毒・換気・密にならないかなど、気をつけながらの日々である。マスク着用など保護者のとらえ方も違う中で、対応の方法の希望を聞き、個々に対応した。保護者からは好意的な意見を聞いた。子どもたちは、コロナ禍での生活に慣れ、園生活の中でいろいろな体験を重ね、友だち関係を作り楽しめている。保育は昨年出来なかった参観など再開している。コロナ前と同じようにはいかないが、保護者にも協力していただき、先生たちもその中で工夫しようとしている姿がありよかった。未就園児対象事業「ぽっぽクラブ」や「ちびっこひろば」の取り組み等も様子を見つつ、進めていることは評価されてよい。なかなか、外に出て活動することが制限される中で、幼稚園で保護者同士が関わりを持てたことをよろこぶ声を聞くことができた。地域の祭りの取り組みには参加できなかったが、中学校区の健全育成の「駅頭でのあいさつ運動」には少人数だが参加できた。これからも少しずつでも取り組みに貢献できるようにしてほしい。園での活動がホームページでアップされ、子どもの様子や保育内容がみえた。行事だけでなく普段の生活の様子を多く発信することが良かったように感じる。園からの連絡事項がアプリで送られるようになり、情報を早く知れるのでよい。手紙よりアプリの方が保護者のニーズとしては大きい。アンケートや取り組みの参加・不参加など、アプリでより効果的に取り組まれることを期待したい。

2. 学校関係者評価の委員

No	氏 名	
1	山田 由紀子	元大阪千代田短期大学講師
2	小坂 真	地域住民（卒園児保護者）
3	坂根 未央	P T A代表
4	田中 真弓	P T A代表
5	中村 亜紗子	P T A代表
6	松田 華月	P T A代表
7	二宮 梨恵	P T A代表
8	道籬 ゆかり	P T A代表

3. 開催日

第1回 2022年9月14日（水）

第2回 2023年 1月24日（火）

4. 委員から出されたその他の主な意見

- ・「保護者と共に」をモットーにしている PTA 活動は、引き続きコロナウイルス感染症の影響もあるが、PTA 諸活動は役員さんを中心に頑張っていただき、状況を見ながら少しずつ活動を再開している。各部でグループラインを作成し、連絡を取り合っている。自主的に各部の部員となっていたので、お手伝いの行事があると、積極的に参加していただいている。子どもたちと関わる機会のある行事などは特に多くの方が参加し、取り組みを盛り上げてくれている。参観がはじまり、クラス懇談が出来たことで、幼稚園の様子や子どもの様子、子どもから聞くお友だちの顔を知れ、保護者同士の関わりが、少し広がった。
- ・7月にあった「夏まつり」で大阪千代田短大の学生さんが、お店コーナーなどをして子どもたちを楽しませてくれた。この行事も久しぶりの取り組みだったが、関わり方も意識して子どもたちが楽しめるように工夫もあり、良かったという意見が多かった。
- ・運動会はコロナウイルス感染予防のため、人数制限をすることを伝えたが、まだまだ仕方がないことなのでと了承してくれた。今まで、午後までしていたのを今年も午前だけにするということは、お弁当作りの大変さを考えるとそこは継続してもらえるとうれしいという声も引き続きある。
- ・今年はしばらくできていなかった PTA バザーの取り組みなどを再開した。在園児の保護者のみの参加にしたが、みなさんで盛り上げてくださり、成功に終わることが出来た。仕事をしている方も多くなっているが、それぞれが出来ることをしてくださった。子どものためにと考えてくださる、保護者に支えられる園であることを実感した。
- ・第2回目の会議の中で、今特に河内長野の出生率が下がっていることで、園児減の心配がある中で本園の良さや改善点を中心に話し合った。

学園の他校種との連携はより充実したものにしてほしい。「ちよたんの森」での子どもたちの成長、いろんな人と関わりの中での学びは大きい。子どもたちが自分たちで遊びを考え、楽しかったことを家の人に話をしている。遊びこんでいる姿が見えることは良い。あと、短大や高校の「お姉ちゃん・お兄ちゃん先生」との関わりは子どもたちも親しみをもち、楽しい時間となっている。これは幼稚園だけでなく、幼児教育を学ぶ学生にとっても大いに意義のあるものだと感じる。連携のできるのはこの学園ならではの事なので、大いに発展させてほしいと意見が出た。

のびのびして、運動を中心に行っている感じの園のイメージがあるが、それだけではなく、遊びの中で小学校に向けてしっかり種をまいていることも感じる。「もじあつめえほん」や「しりとりにえほん」作りを楽しんでいた。子どもたちの楽しいという心をうまく引き出して保育に組み入れていることなど評価できる。自分の思いを言葉にして伝える力も幼稚園でついたので、小学校に行っても人前で発言することも抵抗なく頑張ることが出来ているなど就学後の成長につながっていることも伝えてもらう。

改善点としたら、アピールすることがあまりできていないのではという意見が出された。

いい保育をしていても伝わらなければ理解してもらえない。もう少し工夫が必要と思われる。

・この時期お泊り保育は難しさもあるが、配慮した中で行った。これも子どもにとっては大きな成長の場である。こんな機会はずっと大切にしてほしい。

・心理士がいてサポート体制もあることも大きなことであり、安心できることもきちんとアピールするとよいなどたくさんの意見が出され、きちんと評価していただいた。